

爆乳看板娘のスラムエッチ



「ハアツ！」 七番街スラムセブンスへブンの看板娘のティファちゃんは
今日もスラムの為にモンスターや悪党と戦ってくれている。

「うん、ティファちゃんは戦っている姿も魅力的だな」はちきれんばかりに突き出した
おっぱいが豪快に揺れて、パンチラ全開なのもいとわず豪快な蹴りを繰り出す
ティファ。



「お疲れさまティファちゃん！ いつもすまないねえ」
「はあ・・はあ・・ あっ店長さん。 いいえこれもスラムの為ですから」

「疲れてるところすまないんだけどウチの店の洗面所のバルブの調子が悪いんだ
ちよつと見てくれないかな？」
「まあそれは大変ですね 今すぐお伺いします！」



「えつとごっこですね ああバルブが緩んでるわ

でもこれならすぐ直せそうです」

「ああそうかい ありがとう」
「うーん なんともいい眺めだなあ」



「えっ！ 店長？ いきなり何をされるんですか？」

「いや ティファアちゃんのお尻があんまり魅力的なんで思わず・・・」

「は 恥ずかしい・・・ わ わたしもう帰ります！」



「うーん このもっちりとしてスベスベした手触りがたまらん・・・」

「あついやつ 触らないで！」

「あれ なんか股間の辺りに染みができてるよティファアちゃん」

「そ それはさつき汗かいちやったから・・・」

「そうなの？ ところでティファアちゃん最近何かと入り用なことが多いみたいだね？」

「ティファアちゃんさえ良ければ協力するよ」

「・・・」



「ふっんん…んぐぐ…」

「そうそう 口で吸いながら舌で舐め回すんだよ どうだい私のチ○ポは？」

「ほっほっへもおおひいです」

「そうだろうそうだろう これからこれがティファちゃんの中に入るんだから
しっかりとご奉仕するんだよ」

「ぶぐううう…」



「ほうら もうここがこんなになってるよ」
「はあんなだ だめ・・・」
「クリトリスもこんなに勃ってパンツ越しでも
はつきりわかるぐらいだよ」
「い・いやあ」

「ここをこんなにグシヨグシヨにしてティファちゃんは
エッチな娘だねえ」
「そ そんなことない・・・」
「もうすっかり準備万端だね・・・」

「あんっあんっあんっあああつ」
「すごいよティファちゃん 初めてのなのに
こんなに感じちやつてティファちゃんは
本当はすごくエッチな娘なんだったんだね」

「ち 違うっ か 感じてなんか はあううっ
お 奥まで届いてるっ や だめこれすごすぎるうう！」





「うううっ出る！」
「えっ いい いやああ 中はだめええ！」
「ふううっ ティファアちゃんのオ○シ○コが気持ち
良すぎて中にだしちやっただよ」
「ああああ そんな 中にいっぱい出されちゃって
るよう・・・」

「ちゃんとチ○ポに残った精液もお掃除するんだよ」
「はい・・・」

「ティファちゃんのオ○シヨが良すぎて何発も中に出してしまったよ」
「ティファちゃんも何回もイってたね 愛液と汗でシーツが
ビチヨビチヨだよ」





「あん アッコから精液が溢れてきちゃった。。。」「セックスがこんな面白いものなんて知らなかったな。。。」

「こんな格好・・はずかしいです」
「どつてもきれいだよ それにみんなに格闘術を教えにくれる約束だよね
この恰好のほうが体の動きがよく観察できていいと思うんだ」

「で・でも・」
「わかってるよ」
「は・はい・」

興奮してもう乳首がシコってきてるよ みんな待ってるから早く行こうね」





「ゴフツ！」

「ビューツ ティファちゃんのみぞおちにクリーンヒットー！」

「ホラホラどうしたのティファちゃんまだまだ大勢相手してもらわないといけないんだぜー」



「オボオツ！」

「なんだあ？ ケツと口から精液漏らしたぞ！」

「オイオイ店長とよろしくやりまくってたのかよ！」

「はしたねえ淫乱女だなあティファちゃんは！」

「ちよっ いやっ離して!」

「なんだよ店長とはやつても俺たちとはできねえってか?」

「あんっ おっぱい乱暴にしないでッ」

「すげえ爆乳だぜえ!

乳首もこんなにピンピンにして

ほんとはやりたくてたままないんだろお?」

「みんなで慰めてやるから安心しな!」

「い いやあぁッ」



「んんほおおっ！」

「オラオラオラッ おらしっかりケツ振ってご奉仕しな！」

「マ○コもケツもいい具合に締まって最高だぜえ！」

「前からやってみたかと思っただけどやっぱいい女だな
ティファちゃん！」



「ひぐううっ！」

「おほっ潮まで吹いてそんなに気持ちいいのティファアちゃん？」
「こんなに大勢にやられまくって感じてるなんて
マジで好きものだなあ」

「ほらほらまだまだ後が残ってんだ一生懸命オチ○ポ
しごくんだけええ！」
「んほおおおおっ！」



「うおおおっ！いくぜっ！中にたっぷりぶちまけてやる！」
「ぶっ！おおおおおっ！」

「またいつてるぜこの女の！ そんなに気持ち良かった
のティファちゃん？」
「ひぎいいいいっ！」



「ああっあはっあがっあがっ！」
「ああんっ オ○ンヨとお尻にぶっといオ○ンポ入ってる〜！」
「どうだいティファちゃん俺たちのオチ○ポの具合は」
「中でゴリゴリ擦れてしゅごいのー！」

「こんなにぶっといの両穴にぶち込まれてよがってるなんて
ティファちゃんはほんとにスケベだねえ！」
「はああっそうですティファはチ○ポ突っ込まれてよがりまくる
淫乱メスブタです〜！」



「あああっダメー！ まらっまらイクるっくっくっくっくッ
ティファイキますうううーッッ！」

「うおおおっ出る！」
「オラアはらめえ淫乱女！」
「あひやああああっ ああっオ○ンコとお尻に精子いっぱい
出てるうううう」 ああっティファ幸せ〜」

「ああっまた
またイクううううッ！」



「あら クラウドじゃない？久しぶりね元気にしてた？」
「エッこれ？ うん私も色々大変なんだ でもスラムの為にすごい頑張ってるのよ」
「毎日スラムのみんなに新鮮なミルクも配ってるんだから」

「よかったらクラウドも手伝ってくれない？」











































